

東大阪市 議会だより

No. 175

議会だより編集委員会

東大阪市荒本北1丁目1番1号

平成24年8月15日発行 電話06(4309)3294 FAX06(4309)3868 <http://higashiosaka.gijiroku.com/gikai/>



夏はやっぱり水遊び



夏秋冬

(市内子育て支援センター)

元気に遊ぶ子どもたちのかわいい声が暑さを吹き飛ばしてくれます。



第2回定例会

— 6月5日～29日 —

平成二十四年第二回定例会が 二十六議案を可決し閉会 ポリオワクチンを不活化ワクチンへ変更 ねこ不妊手術助成金を新設

平成二十四年第二回定例会は六月五日から二十九日まで、一回の会期延長を含め二十五日間にわたって開きました。

この定例会では、前定例会で閉会中の継続審査となっていた平成二十二年決定算十二件のほか、市長から「一般会計補正予算(第一回)」や「保育の実施による費用の徴収に関する条例の一部改正」など二十二案件が提案され、審議を行いました。

また、「副市長選任の同意を求める件」や「一般会計補正予算(第二回)」など五案件が六月二十八日に追加提案され、議会議案の「社会福祉再構築を求める意見書決議の件」等とあわせて二十八案件を可決しました。

このほか、六月八日、十一日に十名の議員が個人質問を行いました。

今定例会の経過

今定例会は子育て支援施策として、所得税の年少扶養控除及び十六歳から十八歳までの特定扶養控除の上乗せ部分を廃止とする税制改正により負担増となる保育料の軽減措置を整備する条例改正や、ポリオワクチンを生ワクチンから不活化ワクチンへ変更し、個別接種とする経費等を含んだ一般会計補正予算(第一回)

などが市長から提案されました。

六月八日と十一日の二日間個人質問として十名の議員が質疑、質問を行い、ねこ不妊手術助成などの案件を本会議で質疑した後、各常任委員会へ付託し、審議が行われました。各常任委員会において、精力的に審議し、最終日の六月二十五日には、民生保健委員会と総務委員会の採決を残すのみとなっています。

した。

しかし、調整案件となっていた環境保全公社退職補助金の提案に関して、なお調整に時間を要することから、会期を六月二十九日まで四日間の延長を決定しました。

二十八日には、すべての常任委員会が採決を終え、副市長選任の同意を求める件や一般会計補正予算(第二回)など五案件が市長より追加提案されました。二十八日の本会議では、環境保全公社の退職補助金が計上された一般会計補正予算(第二回)を環境経済委員会へ付託し、それ以外の案件については、採決を行いました。

一般会計補正予算(第二回)を付託した環境経済委員会は、二十八日の本会議終了後と二十九日に集中的に審議し、採決を終えました。その後開かれた本会議において、一般会計補正予算(第二回)を採決し、平成二十四年第二回定例会は、議会議案として提案した意見書決議二件を含め、二十六議案を可決し閉会しました。

(議案の各派態度表、反対討論及び主な議案の内容は二面に掲載)

環境保全公社退職補助金の補正予算取り扱い等の経過

五月二十八日の各派代表者会議では、市長提出予定案件は、当初の方針どおり、平成二十四年六月末をもって大型ごみ等収集業務を環境保全公社への委託から市直営とするため、公社職員退職金相当額の補助金を含む提案でありました。

しかし、五月十四日、二十四日に開催された環境経済委員会では、公社の職員雇用問題の解決、公園協会から環境保全公社が廃止となった統廃合方針変更の経過等、納得できる回答がないため、当初方針どおりの提案は、諸問題解決後にすべきであるとの指摘から、市長は環境保全公社退職補助金を調整案件としました。

その後、環境経済委員長の調整により、市民に迷惑をかけない業務移行が最重要であり、また、雇用問題は六月末の解雇から一カ月間猶予し、公社の業務引き継ぎ期間とする判断がなされたことから、六月二十八日に環境保全公社退職補助金である一般会計補正予算(第二回)が追加提案され、二十九日の本会議で起立採決の結果、可決しました。